

報告事項

平成22年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の概要について

平成22年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の概要について、別紙のとおり報告します。

平成22年12月21日

鳥取県教育委員会教育長 横濱純一

平成22年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の概要について

スポーツ健康教育課

1 本調査の概要

文部科学省が、平成20年度から小学校5年生、中学校2年生全員を対象に、全国的な子どもの体力の状況把握と、学校における体育・健康に関する指導などの改善のため、10項目程度の質問紙による調査を新体力テストに加えて実施しているものである。本年度から、全国約20%の抽出調査となった。

- < 調査対象 > 小学校5年生及び中学校2年生
- < 実技調査 > 8種目
- < 質問紙調査 > 児童生徒用及び学校用

2 調査事項

(1) 児童生徒に対する調査

実技に関する調査

〔小学校8種目〕

握力、上体おこし、長座体前屈、反復横跳び、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

〔中学校8種目〕

握力、上体おこし、長座体前屈、反復横跳び、持久走、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ

(* 持久走か20mシャトルランのどちらかを選択)

質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

(2) 学校に対する質問紙調査

学校における体育、保健体育の指導及び特別活動に関する質問紙調査

3 調査校数と児童生徒数(公立学校)

	鳥 取 県			全 国		
	実施人数(人)	実施校数	抽出率	実施人数(人)	実施校数(校)	抽出率
小学校5年 男子	1,415	74校	46.9%	約11万人	4,350校	18.7%
女子	1,275			約10万人		
中学校2年 男子	1,340	33校	47.1%	約11万人	2,211校	18.5%
女子	1,274			約10万人		

4 調査結果の概要(別紙)

(1) 実技に関する調査結果

(2) 児童生徒質問紙調査から

平成 2 2 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果概要

- 1 実技に関する調査結果
 - ・ 県と全国との比較
 - ・ 体力合計点の 3 年間の比較 (H20,H21,H22)

- 2 児童生徒質問紙調査 (鳥取県) から
 - ・ 1 週間の総運動時間の分布
 - ・ 家庭における「する」「見る (観る)」「話す」と体力合計点との関係

＜実技に関する調査結果＞

スポーツ健康教育課

区分	男子						女子					
	小学校5年			中学校2年			小学校5年			中学校2年		
	全国	鳥取県	有意差	全国	鳥取県	有意差	全国	鳥取県	有意差	全国	鳥取県	有意差
1 握力(kg)	平均値	16.91	16.83		29.70	29.59		16.37	16.40		23.88	23.85
	標準偏差	3.75	3.58		7.14	7.15		3.78	3.58		4.49	4.19
	T得点(全国比)	50.0	49.8		50.0	49.8		50.0	50.1		50.0	49.9
2 上体起こし(回)	平均値	19.28	19.57		26.98	26.83		17.74	18.52		22.33	23.08
	標準偏差	5.71	5.42		5.79	5.70		5.09	4.89		5.51	5.11
	T得点(全国比)	50.0	50.5		50.0	49.7		50.0	51.5		50.0	51.4
3 長座体前屈(cm)	平均値	32.56	31.83		43.08	42.22		36.74	35.79		44.59	43.98
	標準偏差	7.72	6.95		9.90	9.57		8.02	6.98		9.32	9.31
	T得点(全国比)	50.0	49.1		50.0	49.1		50.0	48.8		50.0	49.3
4 反復横跳び(点)	平均値	41.47	43.10		51.04	52.52		39.17	41.26		44.97	46.22
	標準偏差	7.58	6.95		7.40	7.14		6.90	6.03		6.29	5.72
	T得点(全国比)	50.0	52.2		50.0	52.0		50.0	53.0		50.0	52.0
5 持久走(秒) (男1500m,女1000m)	平均値				395.46	379.73					294.77	284.99
	標準偏差				61.44	47.66					45.49	32.57
	T得点(全国比)				50.00	52.6					50.00	52.1
6 20mシャトルラン (回)	平均値	51.29	60.15		84.49	89.53		39.65	50.09		56.45	61.26
	標準偏差	20.75	21.53		23.98	24.01		16.48	17.35		20.01	19.40
	T得点(全国比)	50.0	54.3		50.0	52.1		50.0	56.3		50.0	52.4
7 50m走(秒)	平均値	9.38	9.44		8.04	7.92		9.65	9.67		8.90	8.70
	標準偏差	0.88	0.84		0.79	0.81		0.80	0.80		0.78	0.70
	T得点(全国比)	50.0	49.3		50.0	51.5		50.0	49.8		50.0	52.6
8 立ち幅跳び(cm)	平均値	153.44	154.74		195.37	197.76		145.20	147.38		166.63	170.01
	標準偏差	20.17	20.12		25.62	24.64		19.59	19.24		23.30	21.87
	T得点(全国比)	50.0	50.6		50.0	50.9		50.0	51.1		50.0	51.5
9 ボール投げ(m)	平均値	25.26	25.58		21.23	21.09		14.58	14.66		13.29	13.10
	標準偏差	8.28	8.00		5.31	5.22		5.05	4.99		3.99	3.88
	T得点(全国比)	50.0	50.4		50.0	49.7		50.0	50.2		50.0	49.5
体力合計点(点)	平均値	54.36	55.39		41.71	42.96		54.89	56.74		48.14	50.10
	標準偏差	8.77	8.41		9.73	9.58		8.45	7.90		10.62	9.87
	T得点(全国比)	50.0	51.2		50.0	51.3		50.0	52.2		50.0	51.8
総合評価(%)	A	12.2	13.5		23.4	28.5		13.1	15.4		23.4	28.5
	B	25.9	29.7		33.1	36.6		25.8	32.4		33.1	36.6
	C	34.2	34.0		29.2	25.4		36.3	35.0		29.2	25.4
	D	20.0	16.7		12.1	8.8		19.8	13.6		12.1	8.8
	E	7.7	6.0		2.2	0.7		6.0	3.6		2.2	0.7

…全国値を有意に上回る。(全国より優れている。)

…全国値を有意に下回る。(全国より劣っている。)

体力合計点は小学校5年、中学校2年の男女ともに全国平均よりも優れている。

・学年・種目別の全34項目のうち、19項目(56%)が全国平均よりも優れており、5項目(15%)で劣っている。残り9項目(26%)は有意差が認められない。

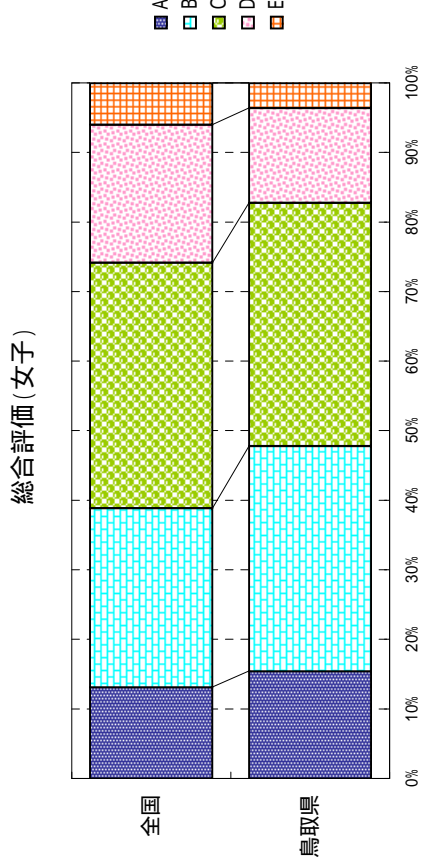
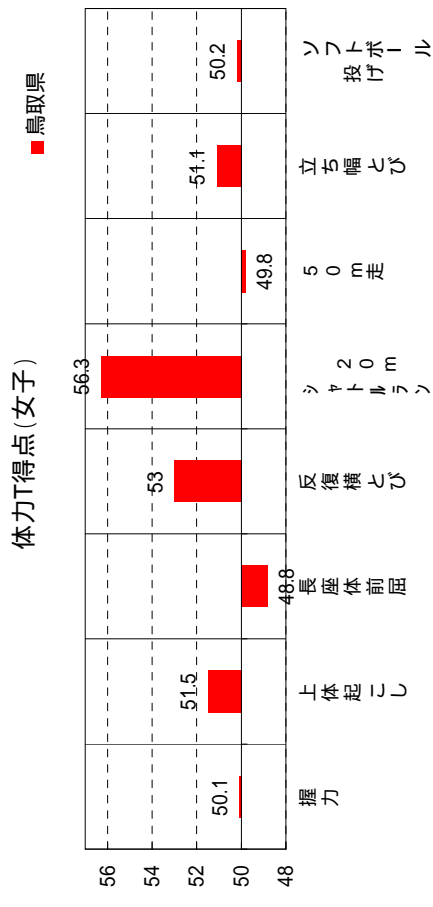
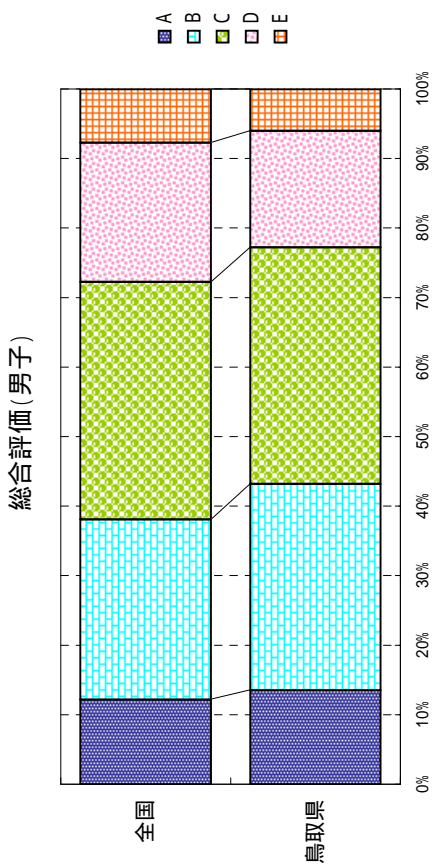
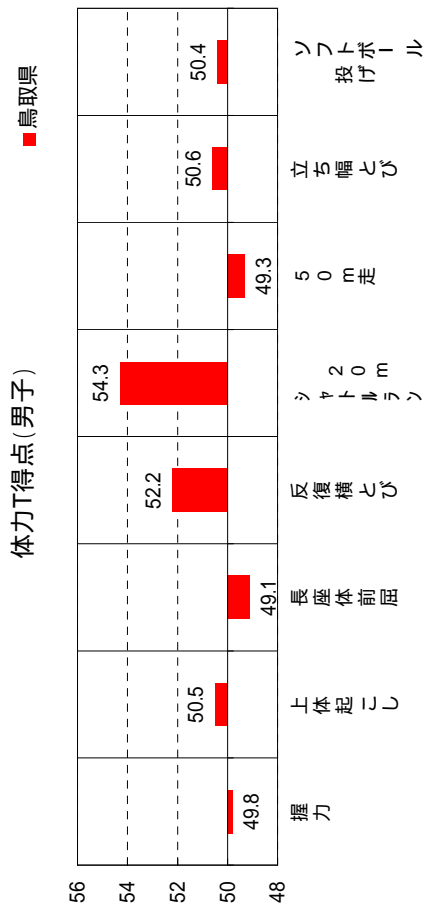
・反復横跳び、20mシャトルラン、立ち幅跳びの3種目は小学校5年、中学校2年の男女とも全国平均より優れている。

また、上体起こしでも中学校2年男子以外は、全国平均よりも優れている。

・長座体前屈は、全国平均より劣っており、昨年同様、柔軟性が課題である。

総合評価(A～E)においては、小学校5年、中学校2年の男女ともにA、B段階の割合が全国よりも高く、C、D段階の割合が低い。

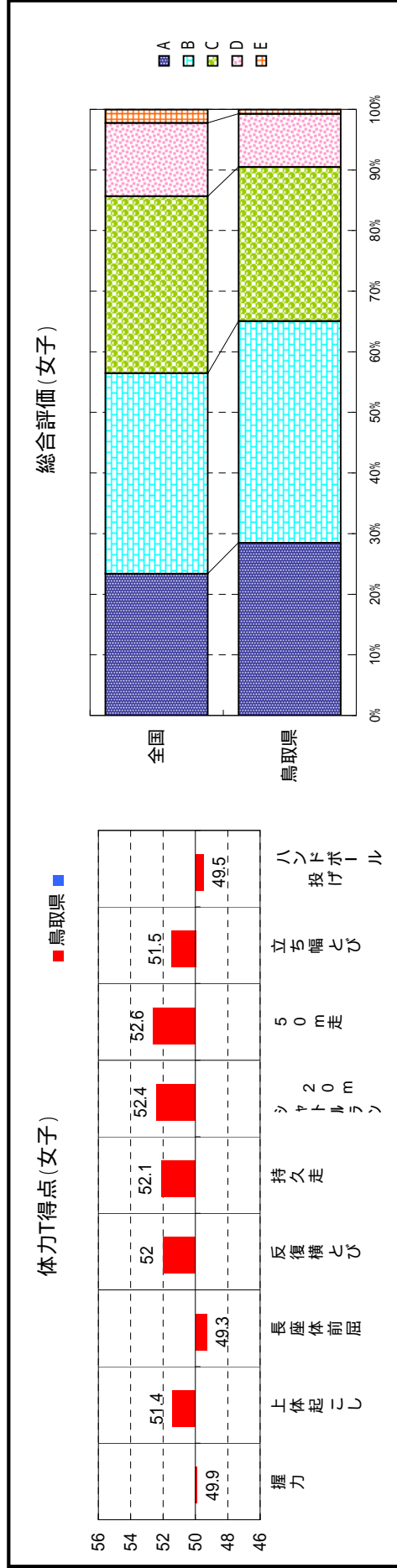
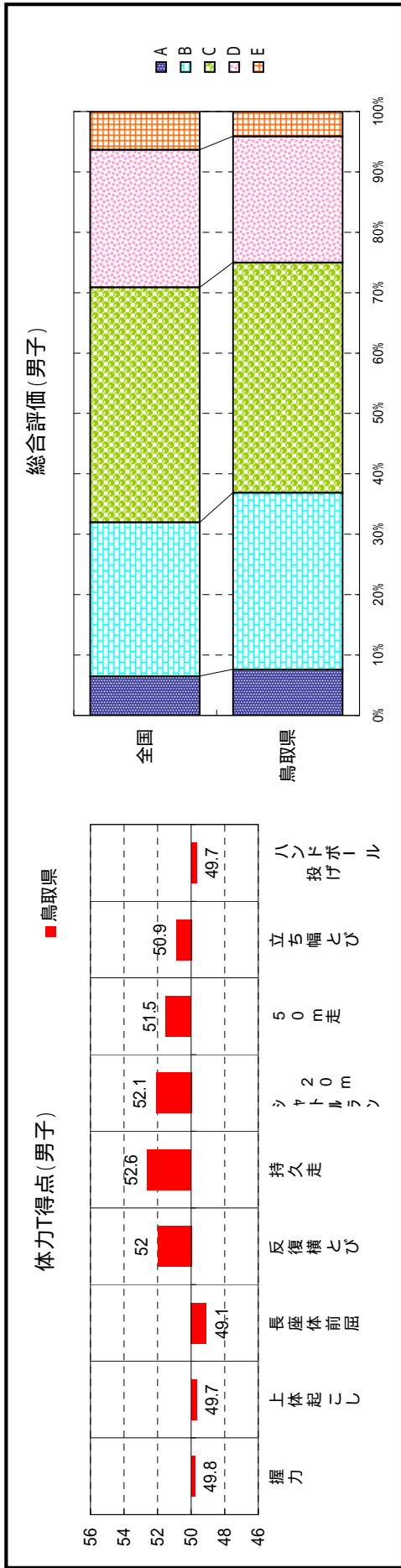
< 体力T得点、総合評価における全国値との比較(小学校) >



* 体力T得点……全国平均値に対する相対的な位置を示し、単位や標準偏差が異なる調査結果を比較する。平均値50点、標準偏差10点の標準得点。
 * 総合評価……8種目の体力テストをすべて実施した場合、体力テストの合計得点の良い方からABCDEの5段階で評定した体力の総合評価。

総合評価基準(男女共通)	段階				
	A	B	C	D	E
10歳	65以上	58~64	50~57	42~49	4.1以下
13歳	57以上	47~56	37~46	27~36	2.6以下

< 体力T得点、総合評価における全国値との比較(中学校) >



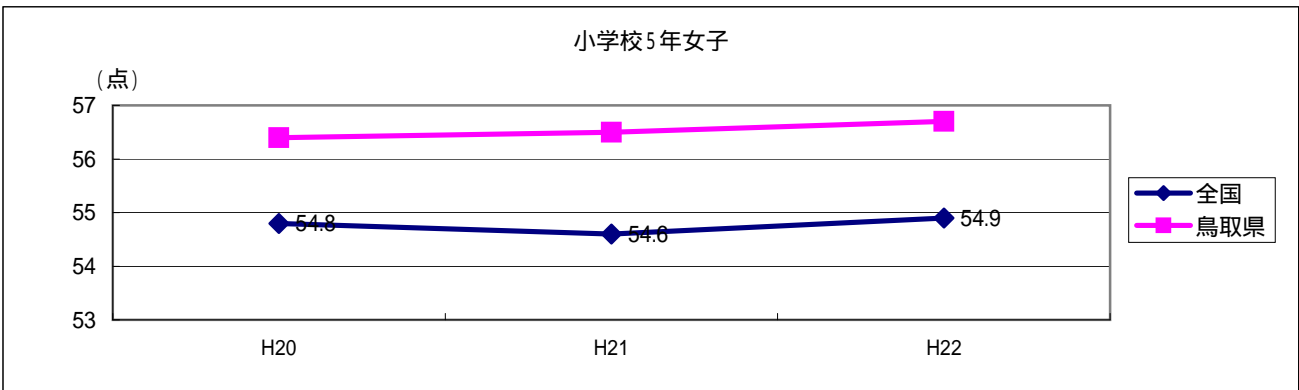
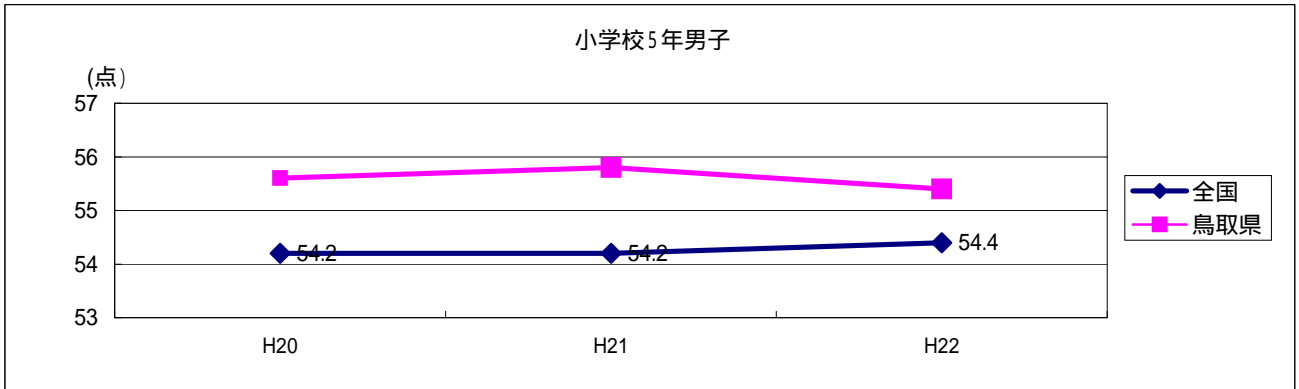
* 体力T得点……全国平均値に対する相対的な位置を示し、単位や標準偏差が異なる調査結果を比較する。平均値5.0点、標準偏差1.0点の標準得点。
 * 総合評価……8種目の体力テストをすべて実施した場合、体力テストの合計得点の良し方からABCDEの5段階で評定した体力の総合評価。

段階	A	B	C	D	E
10歳	65以上	58~64	50~57	42~49	41以下
13歳	57以上	47~56	37~46	27~36	26以下

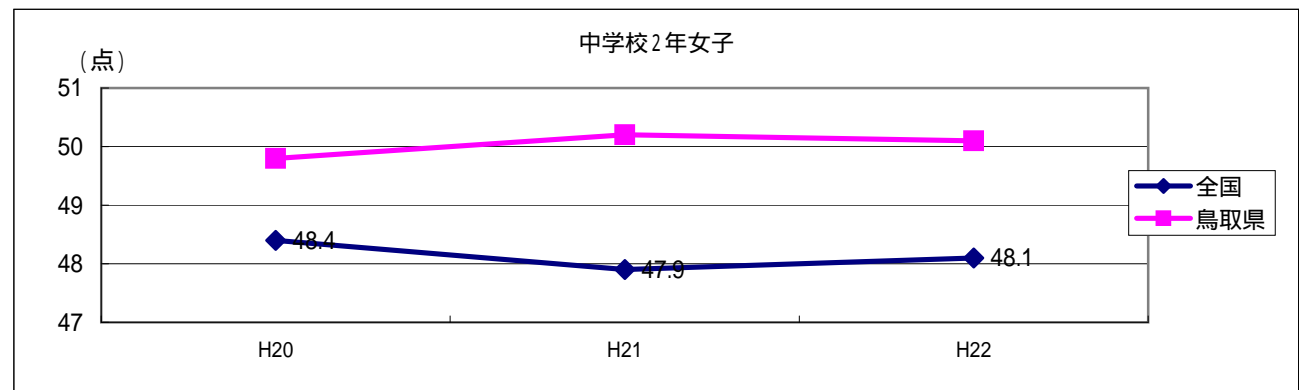
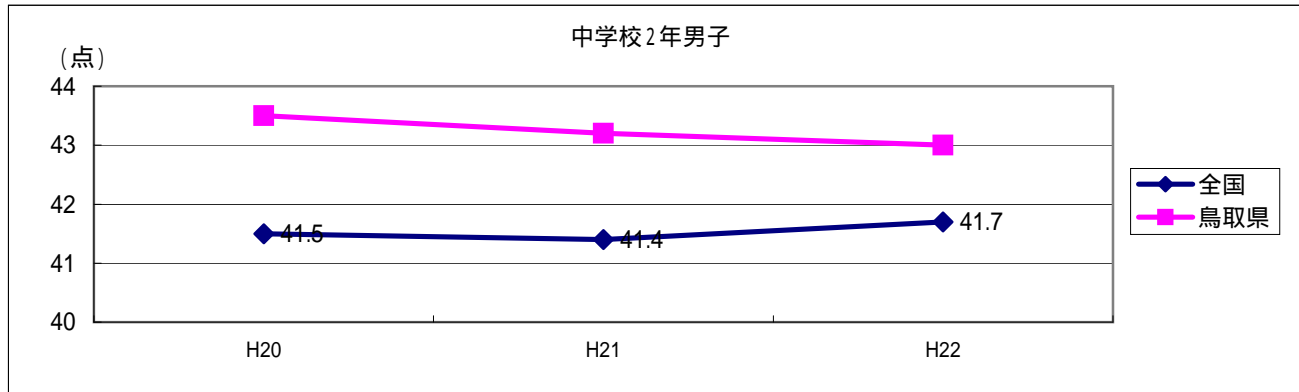
総合評価基準(男女共通)

体力合計点の3年間の比較

【小学校】



【中学校】

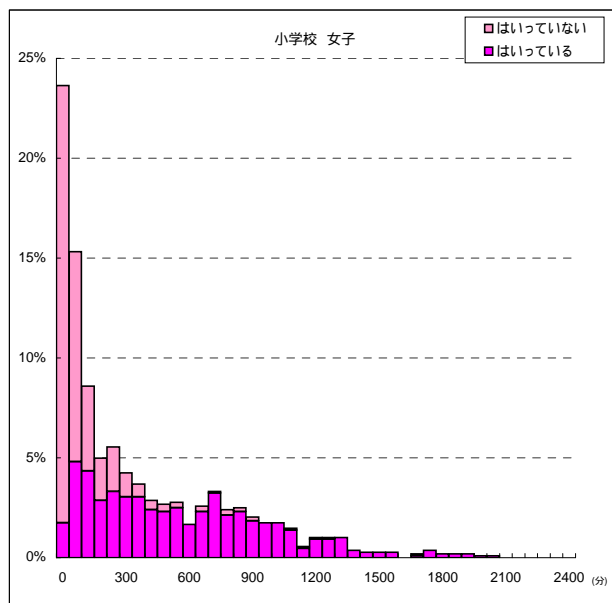
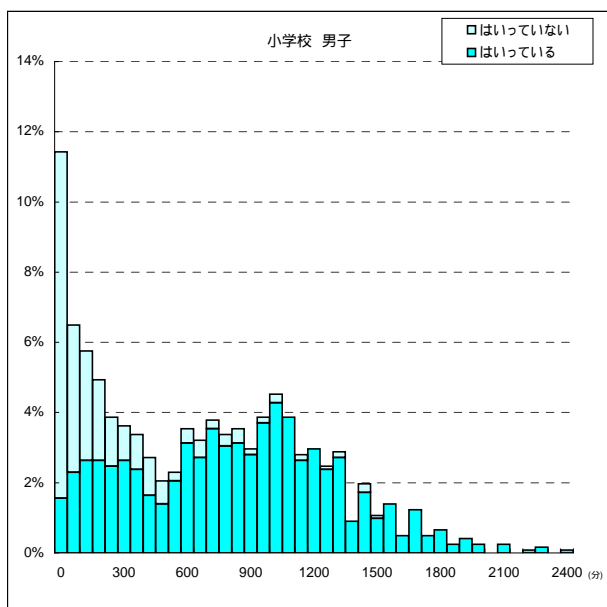


体力合計点については、平成20年度、平成21年度と比較し、小中学校男女ともほとんど変化は見られなかった。(全国、鳥取県とも±1点以内)

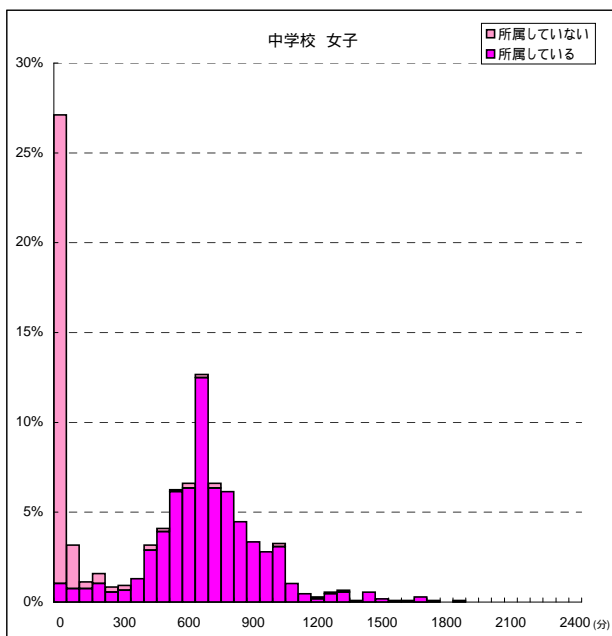
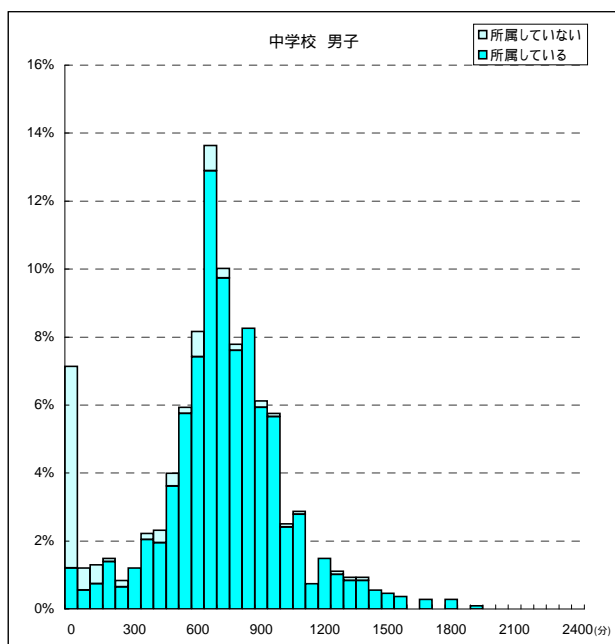
1週間の総運動時間の分布と運動部やスポーツクラブの所属との関連

1週間の総運動時間を見ると、小学生男子及び中学生男女で二極化が見られた。特に女子は、小学生で23.7%、中学生では27.1%の児童生徒の1週間の総運動時間が60分未満であり、体育学習以外に運動しない状況がうかがえる。
 また、小学校の男子及び小中学校の女子で60分未満のほとんどが運動(クラブ)部に所属していない子どもたちで占められている。
 運動部に所属していない児童生徒が運動を実施していく手立てが重要である。

【小学校】

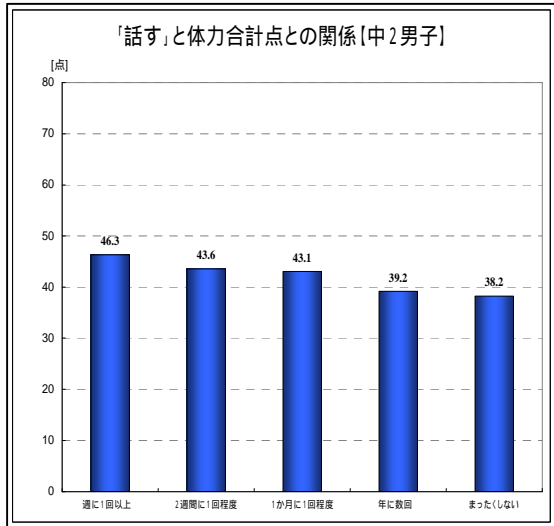
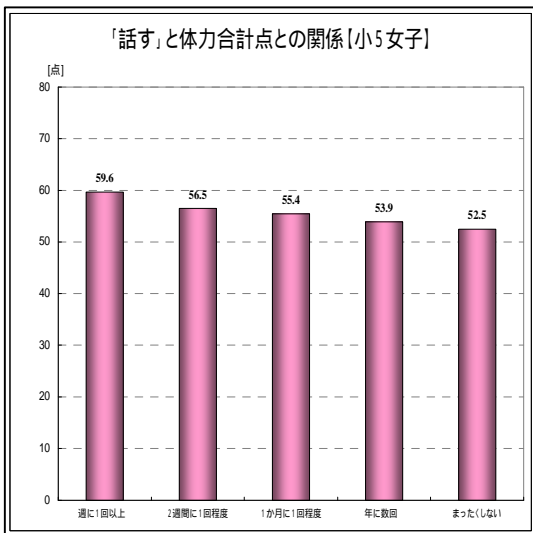
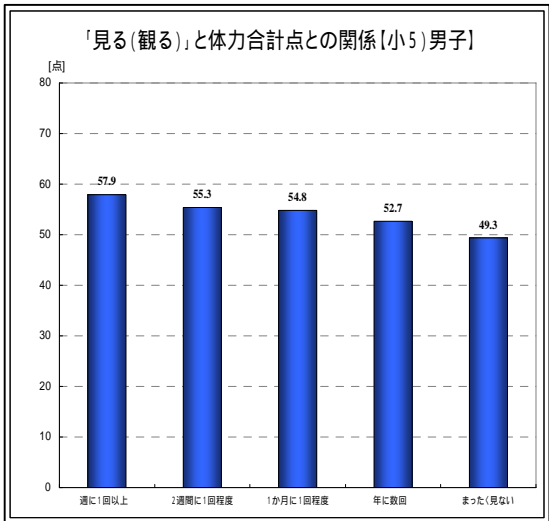
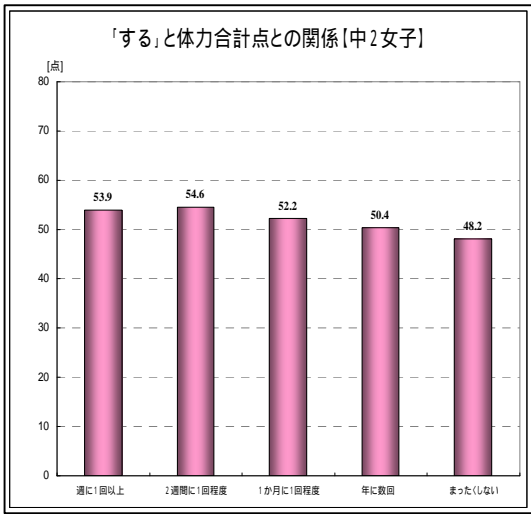


【中学校】



家庭における「する」「見る(観る)」「話す」の効果

家の人と運動やスポーツを「する」「見る(観る)」「話す」と体力合計点との関係



家の人と一緒に運動やスポーツを「する」「見る(観る)」「話す」頻度が高い児童生徒は、体力合計点が高い傾向にある。